

樹脂管システム

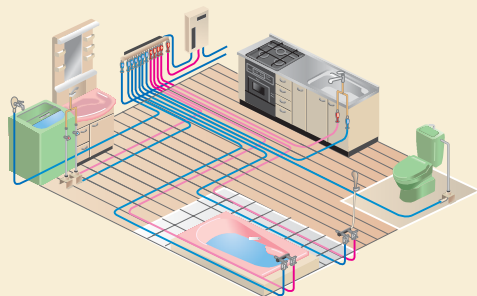
現場施工

製品体系

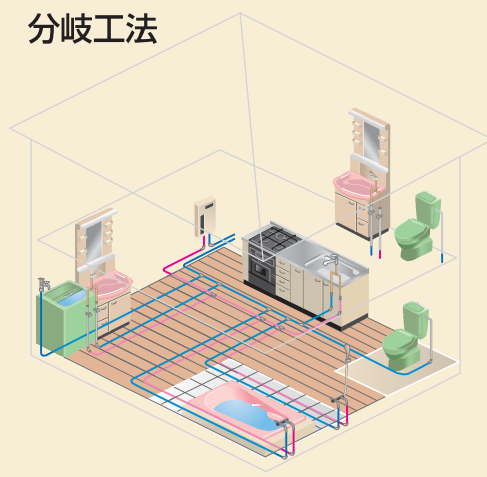
管類	P.16
ヘッダー部材	P.18
シーレックス [®] メカニカル式継手	P.23
シーロック [®] ワンタッチ式継手	P.28
水栓ボックス	P.34
支持金具・管サポート部材	P.40
追焚き部材	P.43
防火区画貫通部材	P.43
配管工具類	P.44

工法

さや管ヘッダー工法



分岐工法



マルチ1^{ワン} アルミ3層管システム

工場施工

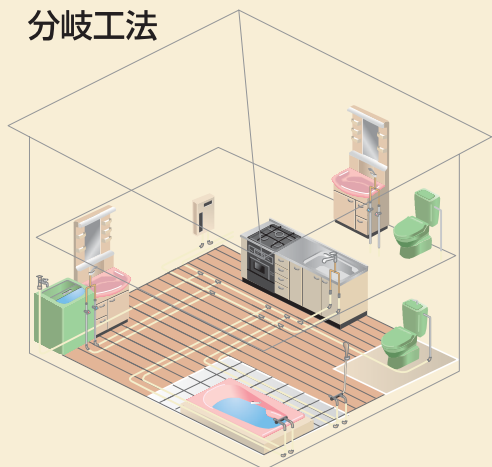
プレハブ工法

管類	P.16
シーレックス ^{ワン} メカニカル式継手	P.23
シーロック1 ^{ワン} ワンタッチ式継手	P.28
水栓ボックス	P.34
支持金具・管サポート部材	P.40
防火区画貫通部材	P.43
プレハブ継手類	P.46

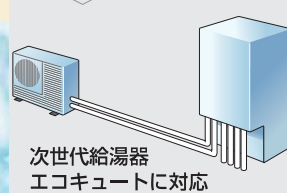
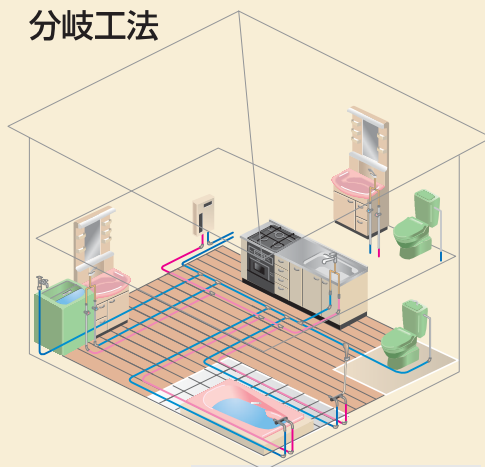
現場施工

マルチ1 ^{ワン} ワンタッチ式継手	P.50
マルチ1 ^{ワン} マルチ1 ^{ワン} パイプ	P.53
配管工具類	P.54

分岐工法



分岐工法



次世代給湯器
エコキュートに対応

さや管ヘッダー工法

給水・給湯用ヘッダーを、メーターボックス(PS)や屋内に設け1本ずつ配管する工法です。

施工手順

さや管の敷設

ヘッダー設置

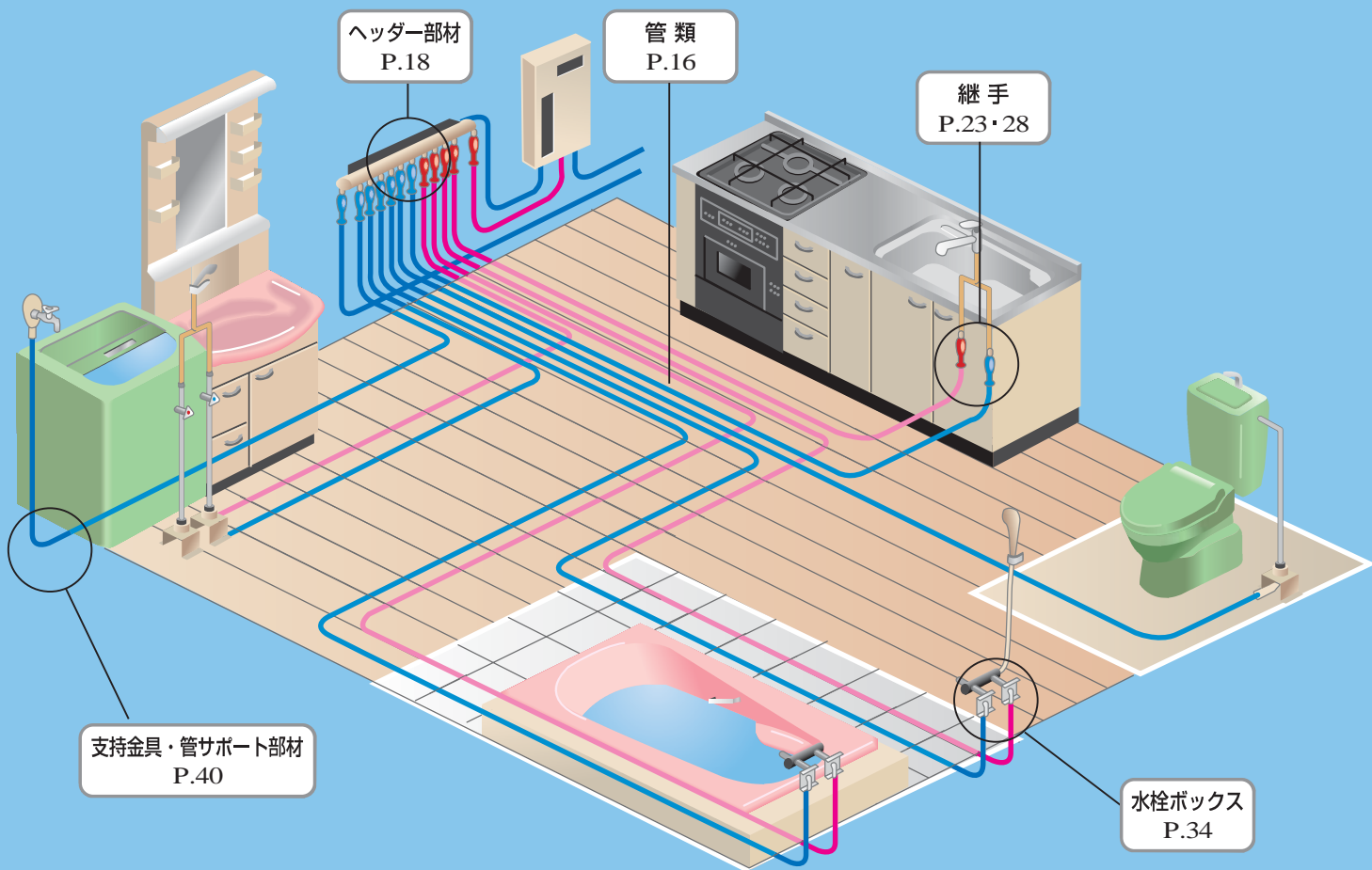
水栓ボックス設置

樹脂管の通管

水圧試験

水栓器具取付

完成



快適性

ヘッダーを設けることで、水栓同時使用時における吐出量の変動が少なく、配管長も短くでき、湯待ち時間が短縮できます。

信頼性

鋼管等の在来工法に比べ、継手の接続箇所が少なく、内装工事終了後に樹脂管を通管することで、釘打ちによる漏水の危険性を少なくできます。

更新性

さや管、水栓ボックス類を使用することにより、樹脂管の更新・メンテナンスが容易になります。

施工性

ねじ切りのような熟練工や特殊機械工具を必要としません。

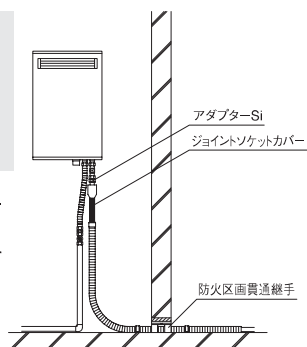
シーケー金属(株)のさや管ヘッダー工法は(財)ベターリビングによって優良住宅部品認定制度に基づき「配管システム」として認定されています。

給湯器

アダプター Si 防火区画貫通継手



- 給湯器との接続には、アダプターSi等を使用します。
- 防火区画を構成する壁を貫通する際には、防火区画貫通部材をご使用ください。

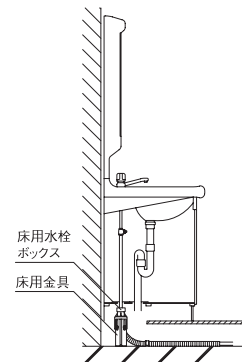


洗面化粧台

床用水栓ボックス 床用金具



- 床取出しの場合、床仕上り高さに合わせて床用水栓ボックス類を使用します。床仕上り高さが十分に取れない場合は、低床用水栓ボックスまたは高床用水栓ボックスをお選びください。

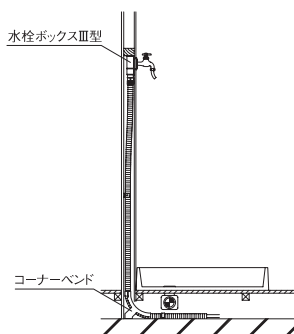


洗濯

水栓ボックスⅢ型 コーナーベント



- 水栓ボックスⅢ型を使用します。壁厚に応じて水栓ボックスⅢ型(S)(M)(L)をご使用ください。
- ボード厚9mmの場合には、取り付けビス長さに注意して水栓ボックスを取り付けてください。
- さや管立ち上げ部は、サポート類でしっかりと支持してください。

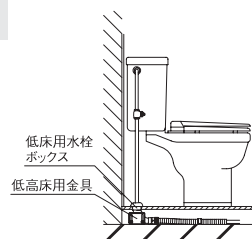


トイレ

低床用水栓ボックス 低高床用金具



- 床取出しの場合、床仕上り高さに合わせて床用水栓ボックス類からお選びください。
- 水栓ボックスⅢ型を床に寝かせて設置することもできます。

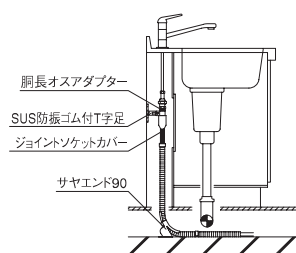


キッチン

胴長オスアダプター SUS防振ゴム付T字足 サヤエンド90



- 床上に、さや管を直接立ち上げ、胴長オスアダプター、胴長アダプターSi等で接続します。この時使用するワンタッチ継手は、防振ゴム付T字足等でしっかりと固定してください。
- さや管立ち上げ部もサポート類で支持してください。

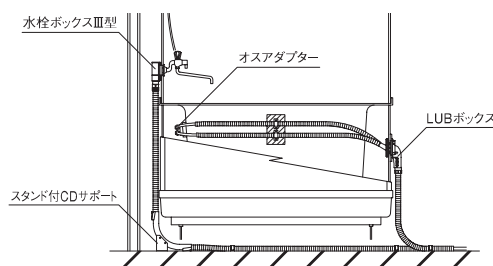


ユニットバス

水栓ボックスⅢ型 オスアダプター スタンド付CDサポート LUBボックス



- 混合水栓(壁取出し)の接続には、水栓ボックスⅢ型を使用します。補強板は、あらかじめユニットバスメーカーと打ち合わせの上、厚さ12mm以上のものを取り付けてください。
- 水栓ボックスⅢ型の取り付け穴は、φ57mmとしてください。さや管立ち上げ部もサポート類で支持してください。
- 追焚き配管のユニットバス壁貫通部には、LUBボックスを使用します。φ80mmの穴を開けた補強板で取り付けてください。



樹脂管システム

管類

ヘッダー部材

メカニカル式継手

ワンタッチ式継手

水栓ボックス

管サポート部材

追焚き部材

防火区画貫通部材

配管工具類

フレハブ工法

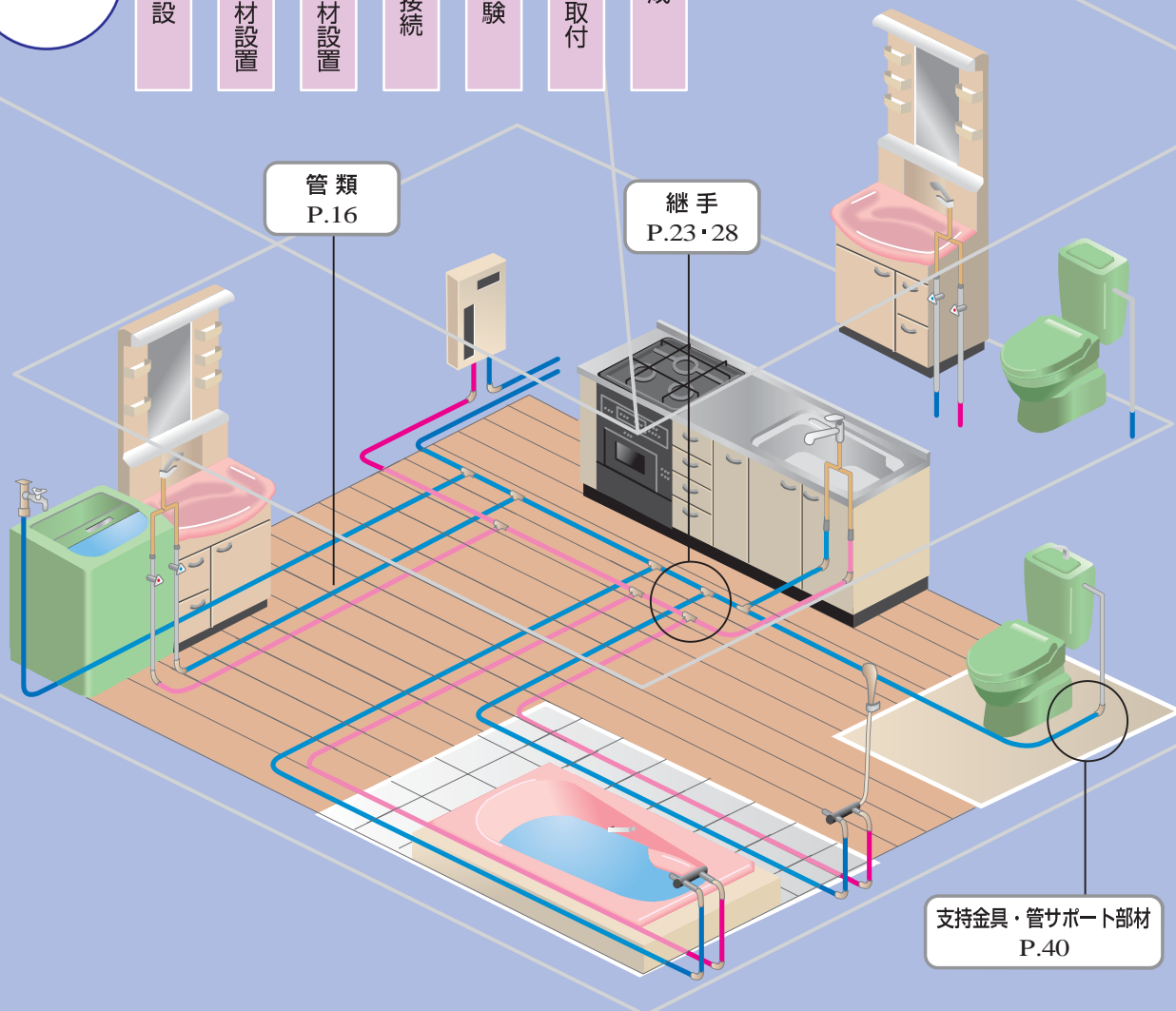
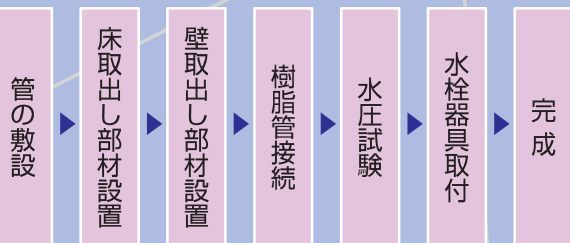
マルチ層システム

注意：BL部品は設置する場所（適用範囲 P.55以降の注意事項参照）を設定して認定基準等を規定しております。その為、BL部品を適用範囲外で使用される場合は優良な部品としての性能が発揮出来ないことがあるとともに、優良部品認定制度に基づく優良住宅部品とはなりませんのでご注意ください。

分岐工法

給水・給湯ともに、1本の主管から各水栓へ分岐用の継手を使用して枝管を接続する配管工法です。

施工手順



工期短縮

さや管ヘッダー工法のような後通管を必要としないため、さらに工期が短縮できます。

簡単設計

鋼管等の在来工法の配管設計図がそのまま流用可能で、配管の簡素化が図れます。また、施工途中の設計変更にも柔軟に対応できます。

低コスト

ヘッダーや水栓ボックス類などの特殊部材をしない上、鋼管等の在来工法に比べ、継手の数も減らせるので、部材費の削減が図れます。

施工性

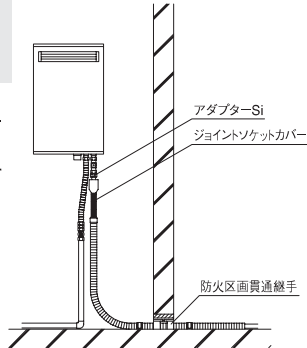
ねじ切りのような熟練工や特殊機械工具を必要としません。

給湯器

アダプター Si 防火区画貫通継手



- 給湯器との接続には、アダプターSi等を使用します。
- 防火区画を構成する壁を貫通する際には、防火区画貫通部材をご使用ください。

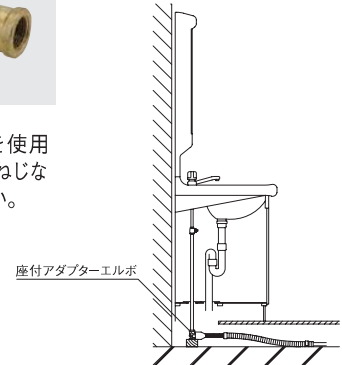


洗面化粧台

座付アダプターエルボ 両座付給水栓エルボ



- 座付アダプターエルボなどを使用します。当て木を設置し、木ねじなどでしっかりと固定してください。

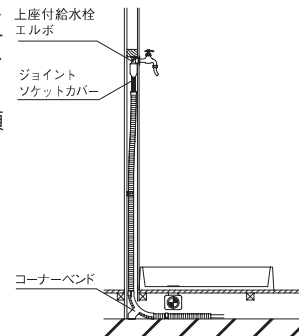


洗濯

上座付給水栓エルボ 両座付給水栓エルボ コーナーベント



- 上座付給水栓エルボなどを使用します。間柱などに当て木を取り付け、木ねじなどでしっかりと固定してください。
- さや管立ち上げ部は、サポート類でしっかりと支持してください。

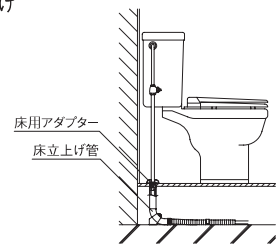


トイレ

床用アダプター 床立ち上げ管



- 床用アダプターを使用し、床が仕上がった後、床から木ねじなどで固定します。
- 床下のサポートには、床立ち上げ管を使用します。

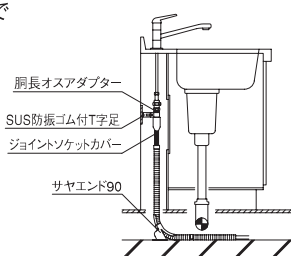


キッチン

胴長オスアダプター SUS防振ゴム付T字足 サヤエンド90



- 床上に、さや管を直接立ち上げ、胴長オスアダプター、胴長アダプターSi等で接続します。この時使用するワンタッチ継手は、防振ゴム付T字足等でしっかりと固定してください。
- さや管立ち上げ部もサポート類で支持してください。

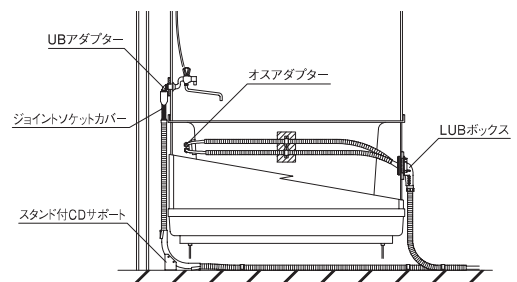


ユニットバス

オスアダプター スタンド付CDサポート LUBボックス



- 混合水栓(壁取出し)の接続には、市販のユニットバス取出し金具を使用します。また樹脂管の接続には、オスアダプターを使用します。
- さや管立ち上げ部もサポート類でしっかりと支持してください。
- 追焚き配管のユニットバス壁貫通部には、LUBボックスを使用します。φ80mmの穴を開けた補強板で取り付けてください。



樹脂管システム

管類

ヘッダー部材

メカニカル式継手

ワンタッチ式継手

水栓ボックス

管サポート部材

追焚き部材

防火区画貫通部材

配管工具類

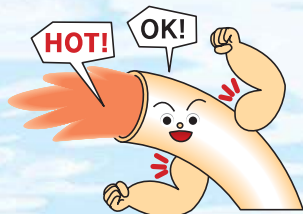
プレハブ工法

アルミ樹脂システム

樹脂管の特長

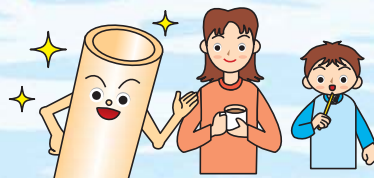
耐熱性

高温で長時間使用しても、強度の低下はほとんどありません。



衛生性

有害物質の溶出や赤錆・青錆などによる水質汚濁がなく、長期間衛生的です。



流量の確保

金属管に比べて内面が滑らかで摩擦抵抗が小さいため、スケールなどが付着しにくく、長期にわたって安定した流量が確保されます。



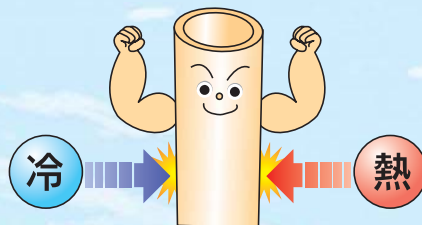
施工性

軽量で柔軟なため、切断・接合・曲げ配管が容易にできます。特に小口径管は長尺（巻物）のため、容易に引きまわし配管ができます。



保温・保冷性

熱伝導率が鋼管や銅管に比べ極めて小さく、管内流体の保温・保冷性に優れています。



耐塩素水性

水道水使用の条件である、耐塩素水性に優れています。

